

日本政治論 I



池田内閣 I

浅野正彦

1

1

● 日本の政治家
池田 勇人
いけだ はやと



1962年11月22日 (62歳)

生年月日 1899年12月3日

出生地 ● 日本、広島県豊田郡吉名村

没年月日 1965年8月13日 (65歳没)

死没地 ● 日本、東京都

出身校 京都帝国大学法学部

前職 大蔵省官僚・次官

所属政党 (民主自由党→)
(自由党→)
自由民主党

称号 正二位
大勲位菊花大綬章
法学士 (京都帝国大学)

- ・一高を受験 → 2度落第
- ・京都帝国大学法学部卒業
- ・大蔵省へ入省
- ・京大卒の池田は出世コースから外れた傍流
- 入省後は相場の通り地方を廻る
- ・1929年 原因不明の難病 (体中から膿が出る) を発症 (宇都宮税務署長時代)
- 大蔵省を休職
- 1931年に退職 → 以後3年間、療養生活
- ・1934年に奇跡的に完治する「どうして治ったのか判らぬ」 (医者)
- ・大蔵省に復職 (34歳)
- ・主税局国税課長 (賀屋蔵相の下) 「大臣になったときよりも嬉しかった」
- ・1945年 主税局長 (初の京大出身の局長)
- ・1947年 大蔵次官 (第1次吉田内閣)
- ・1948年 大蔵省退官 (48歳)
- ・1949年 衆議院議員総選挙に旧広島2区から初当選 (7回全てトップ当選)
- ・大蔵大臣 (当選1回) ← 大野伴睦ら党人派が反対
- ・通商産業大臣 (第3次吉田内閣)
- ・経済審議庁長官 (第4次吉田内閣)
- ・1960年 総理大臣
- ・1964年 喉頭がんの治療のため国立がんセンターに入院
- ・1964年 東京オリンピック閉会式 (10月24日)
- 退陣表明 (10月25日)
- ・1965年8月13日 死去

2

池田勇人の選挙結果

. list year ku kun mag nocand rank party status wl previous votes voteshare if name == "IKEDA, HAYATO", noobs

year	ku	kun	mag	nocand	rank	party	status	wl	previous	votes	votesh~e
1949	hiroshima	2	4	9	1	m-jiyu	challenger	win	1	61072	22.4
1952	hiroshima	2	4	9	1	jiyu-a	incumbent	win	2	90091	29.7
1953	hiroshima	2	4	7	1	jiyu-y	incumbent	win	3	68387	24.8
1955	hiroshima	2	4	7	1	jiyu-b	incumbent	win	4	62191	21.7
1958	hiroshima	2	4	6	1	LDP	incumbent	win	5	83913	28.4
1960	hiroshima	2	4	8	1	LDP	incumbent	win	6	83817	28
1963	hiroshima	2	4	6	1	LDP	incumbent	win	7	74507	24.1

1949年 衆議院議員総選挙に旧広島2区から初当選（7回全てトップ当選）

3

3

第1次池田内閣



内閣総理大臣 第58代 池田勇人
 成立年月日 1960年（昭和35年）7月19日
 終了年月日 同年12月8日
 与党・支持基盤 自由民主党
 施行した選挙 第29回衆議院議員総選挙
 衆議院解散 1960年（昭和35年）10月24日
 安保解散

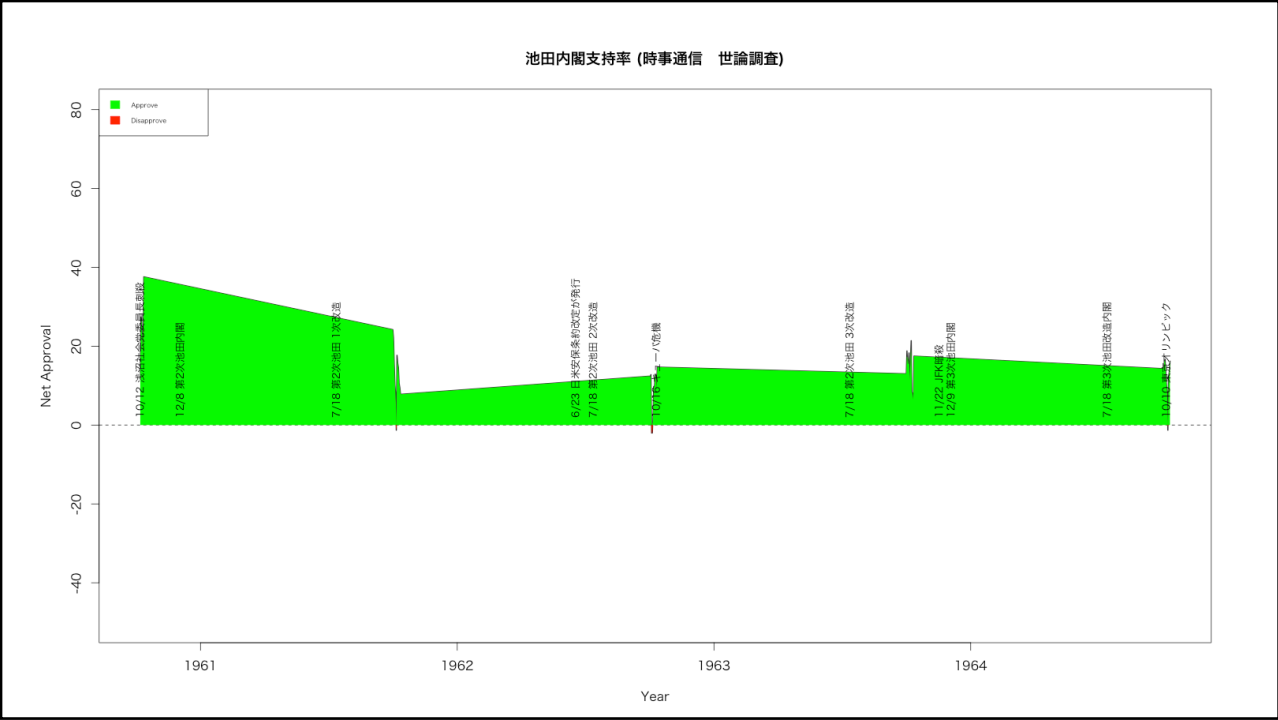
池田内閣（いけだないかく）は、池田勇人を内閣総理大臣とする日本の内閣。

- 第1次池田内閣: 1960年（昭和35年）7月19日 - 1960年（昭和35年）12月8日
- 第2次池田内閣: 1960年（昭和35年）12月8日 - 1961年（昭和36年）7月18日
- 第2次池田第1次改造内閣: 1961年（昭和36年）7月18日 - 1962年（昭和37年）7月18日
- 第2次池田第2次改造内閣: 1962年（昭和37年）7月18日 - 1963年（昭和38年）7月18日
- 第2次池田第3次改造内閣: 1963年（昭和38年）7月18日 - 1963年（昭和38年）12月9日
- 第3次池田内閣: 1963年（昭和38年）12月9日 - 1964年（昭和39年）7月18日
- 第3次池田改造内閣: 1964年（昭和39年）7月18日 - 1964年（昭和39年）11月9日

4

<div>第3次池田改造内閣</div> <div>内閣総理大臣 第60代 池田勇人</div> <div>成立年月日 1964年（昭和39年）7月18日</div> <div>終了年月日 同年11月9日</div>							
国務大臣 <small>〔編集〕</small>				通商産業大臣	桜内義雄	衆議院 自由民主党 (河野派)	
				運輸大臣	松浦周太郎	衆議院 自由民主党	
				郵政大臣	徳安実蔵	衆議院 自由民主党	
				労働大臣	石田博英	衆議院 自由民主党 (三木派)	
				建設大臣	小山長規	衆議院 自由民主党	近畿圏整備長官 首都圏整備委員会委員長
				自治大臣 国家公安委員会委員長	吉武恵市	参議院 自由民主党	
				内閣官房長官	鈴木善幸	衆議院 自由民主党 (池田派)	
				総理府総務長官	臼井莊一	衆議院 自由民主党	
				行政管理庁長官 北海道開発庁長官	増原恵吉	参議院 自由民主党	
				防衛庁長官	小泉純也	衆議院 自由民主党	
				経済企画庁長官	高橋衛	参議院 自由民主党	
職名	氏名	所属	特命事項				
内閣総理大臣	池田勇人	衆議院 自由民主党 (池田派)					
国務大臣	河野一郎	衆議院 自由民主党 (河野派)	東京オリンピック担当 内閣総理大臣臨時代理（副総理）				
法務大臣	高橋等	衆議院 自由民主党					
外務大臣	椎名悦三郎	衆議院 自由民主党					
大蔵大臣	田中角栄	衆議院 自由民主党 (佐藤派)					
文部大臣 科学技術庁長官	愛知揆一	衆議院 自由民主党 (佐藤派)	原子力委員会委員長				
厚生大臣	神田博	衆議院 自由民主党					
農林大臣	赤城宗徳	衆議院 自由民主党 (川島派)					

5



6

1960年7月 総裁選挙投票結果

第一回投票

池田勇人 . . . 246
 石井光次郎 . . . 196
 藤山愛一郎 . . . 49
 松村謙三 . . . 5

決戦投票

302
 194

→ 池田勇人が総裁に当選



[岸内閣の復習と池田内閣](#)

[Youtube: \(8:24\)](#)

[昭和宰相列伝 6 岸信介、池田勇人\(1957-1964\)](#)

7

ビデオ:1960 池田内閣成立

8

8

第29回衆議院議員総選挙

1958年 ← **1960年 (昭和35年) 11月20日** → 1963年

内閣 第1次池田内閣
 解散日 1960年 (昭和35年) 10月24日
 解散名 安保解散
 公示日 1960年 (昭和35年) 10月30日
 改選数 467
 選挙制度 中選挙区制(注釈 1)
 有権者 満20歳以上の日本国民
 有権者数 54,312,993

選挙後の党派別勢力図

投票率 73.51% (♥ 3.48%)

第1党	第2党	第3党
党首 池田勇人	江田三郎 (代行) (注釈 2)	西尾末広
政党 自由民主党	日本社会党	民主社会党

安保で人心がすさんでいる
 → 人心一新するために総選挙を行う

浅沼稻次郎暗殺事件 (1960年10月12日)

[Youtube:](#)
[日本社会党首「浅沼稻次郎刺殺事件」映像](#)
[＜昭和35年＞ NNN特集TV抜粋](#)

9

浅沼稻次郎・社会党委員長が右翼の青年に刺殺 (1960年10月)

日比谷公会堂、自民・社会・民社の三党首討論会

➔ 池田政権を揺るがす可能性のある事件

➔ 国家公安委員長の辞職



ひたすら歩むことでようやく辿り着いた晴れの舞台で、61歳の野党政治家は、生き急ぎ死に急ぎ閃光のように駆け抜けてきた17歳のテロリストと、激しく交錯する。社会党委員長の浅沼稻次郎と右翼の少年山口二矢。1960年、政治の季節に邂逅する二人のその一瞬を描くノンフィクションの金字塔。新装版「あとがき」を追加執筆。大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。

10

池田勇人内閣の人事・・・安保に協力的だった派閥を優遇

池田派・・・5
岸派・・・3
佐藤派・・・3
石井派・・・2
大野派・・・2
藤山派、石橋派、無派閥・・・それぞれ1
河野派が冷遇

自民党内人事

益谷秀次（幹事長・池田派）
保利茂（総務会長・佐藤派）
椎名悦三郎（政調会長・岸派）

11

11

池田総理の取り組んだ政策

所得倍増計画

その起源：岸内閣時代にその策定が始まった

中山伊知郎・一橋教授が読売新聞上で「賃金倍増」を提案（1959年1月）

池田勇人が「月給二倍論」を遊説中に打ち出す（1959年2月）

1959年6月の参院選で好評

➔ 岸内閣はこれを政策に取り入れた

➔ 「国民所得倍増計画」は閣議決定(1960年末)

12

12

ビデオ 1961 田中角栄44歳の新蔵相

池田が死去した後、大蔵省に「私兵」を養成

13

13

宏池会（池田派）は政策を練り 「所得倍增計画」を発表 (1960年9月)

所得倍增計画が出てくる背景

日本の高度経済成長・・・1955～57年に始まる
1959年以降・・・実質10%を超える経済成長

宏池会の基本的な考え：

公共投資

日本の経済成長 + 金利引き下げ → 国民所得は平均
減税 7.25%成長

→ 10年で倍増

14

具体的な施策・・・大胆で新鮮な政策

1. 毎年一千億円以上の減税
2. 公社債市場の整備
3. 道路の整備や鉄道のディーゼル化・複線化などによる輸送力の強化
4. 高等工業専門学校の新設などによる科学技術振興

➡野党は「四年間で国民所得を1.5倍にする」
という政策を発表（1960年9月）

15

15

[ビデオ:1961 ライシャワー大使着任](#)

16

16

大臣時代の池田の性格・・・率直で開放的

大臣時代の池田の放言・・・

「貧乏人は麦を食え」

「ヤミ取引を行った中小企業に少々倒産や自殺者がでてもやむを得ない」

池田内閣「低姿勢」の演出

庶民感情を考えて、ゴルフはしない、接待への行かないと公約し実行した

17

17

総裁選挙で池田勇人を支えた派閥の期待と 池田の路線

岸・佐藤派からの批判

「池田は本来の課題に取り組まないで人気とりに堕し、無責任」

← 岸内閣以来懸案の法案などを通す必要があったが、
通さずにいた

組閣（1961年6月）・・・実力者内閣

河野一郎（農相）

・・・有能かつ池田と急接近

佐藤栄作（通産相）

・・・鈍重で見劣り → 池田の次を狙う

藤山愛一郎（経済企画庁長官）

・・・池田の次を狙う

18

18

1. 池田内閣の外交政策

- ・対米同盟を維持 → 充実させる
- ・対米一辺倒ではなく、英仏とも付き合う
- ・太平洋諸国との連携(タイ・オーストラリア)
- ・台湾(蒋介石)とは仲良くする
- ・中国とも付き合う(ソ連への牽制として)

アメリカ一辺倒でない対米政策を採用した内閣
岸・池田・安部(2014-)

19

19

1. 憲法九条を骨抜きにする(内閣法制局の法解釈によって)

- 集団的自衛権 + 核武装が可能になるように
- 防衛費は増額

2. 日本の高度経済成長

- ソ連の野望(日本の共産化)を無力化させる

「池田内閣は徹底した経済への傾斜とハト派的態度を貫いていった。いわゆる所得倍增政策は、池田内閣のすべてだった。池田内閣は所得倍增政策に始まり、所得倍增政策に終わったと言ってもよい」(堀江堪)

↑

「池田政権の防衛問題に対する姿勢は”鳩派”ではない」(樋口恒晴)

出典:『池田内閣と防衛政策』『筑波法政』15, pp.275-297, 1992-03.

20

20

2. 与野党間での衝突

難しい法案:

- (1) 防衛二法
- (2) ILO関係諸法案
- (3) 農業基本法
- (4) 政治的暴力行為防止法案→ 野党からの反発が予想された

福田赳夫・政調会長(岸派)

保利茂・総務会長(佐藤派)

- 池田にこれら困難な法案を強行通過させようと画策
- 国会が混乱
- 池田首相辞職へ

21

21

[ビデオ:1961「曲がり角にきた農業」](#)

22

22

3. 福田赳夫・政調会長による池田批判

「高度成長よりも安定の方が大事だ」京都で記者会見

- 党の政調会長が内閣の最も大事な政策を批判
- 池田首相は激怒
- 福田赳夫は政調会長を辞任
- 党風刷新懇話会を結成(1962年1月)
各派閥から中堅100名を結集
池田を批判、派閥の解消を要求

23

23

[ビデオ:1961 JFK大統領](#)

24

24

4. 国民からの支持

池田内閣の政策が成功
経済が好調
国民からの人気が高い

経済主義の限界・・・すべてを経済主義では乗り切れない

キューバ・ミサイル危機(1962年10月)

25

25

[ビデオ:1962キューバ危機](#)

[キューバ危機に際しての全国テレビ公開放送 日本語訳](#)

26

26

日米安保条約上、日本は必ずしもアメリカと一致した行動をとる必要はない

条約や慣例が通用しない事例であることを認識

ケネディ大統領の要請を全面受諾するか否か？

「時には我々は断固としてアメリカを支持しなくてはならない、たとえアメリカが間違っているとしても」(ド・ゴール)

→ キューバ・ミサイル危機以来、池田の発言に変化

「日本も核武装しなければならん」

27

27

5. 1964年7月の総裁選挙結果

第一回投票結果

池田勇人 … 242

佐藤栄作 … 160

藤山愛一郎 … 72

佐藤と藤山は二、三位連合の約束があった

→ 池田総裁、辛勝(三選)

池田総理が病気で退陣

→ 話し合いで後継は佐藤に決まる

28

28

自民党総裁選に関する隠語

ニッカ: 2派閥から金をもらう

サントリー: 3派閥から金をもらう

オールドパー: 全派閥から金をもらう→逃げる

忍者: 敵対派閥をスパイにする

一本釣り: 的派閥議員を個別に説得買収して裏切らせる

トロール漁法: 派閥ごと買収する

29

29

なぜ、病気の池田は総裁選に出馬したのか？

- ・「教育」と「憲法」をやり残したから
- ・軍隊があっても、国民に国を守る気概がなければ意味がない
 - ・国を守る気概を生み出すのは「教育」
- ・国民が愛国心をもつような教育をすることが必要
 - ・大事ななのは「国民が愛国心をもつこと」
 - 必然的に憲法は改正される

30

30

[ビデオ:1964 第18回東京オリンピック](#)

31

31

1964年8月 池田首相、喉に異常が発見

9月 入院

10月 東京オリンピックの開会式に出席
翌日、辞職発表

32

32

ビデオ:1964 二つの中国

33